

## 省エネルギー

東京エレクトロングループでは、地球温暖化防止対策として省エネルギーを推進しています。各事業所共通として、昼休みの消灯、空調機の温度設定管理等を実施し電力の削減を図っています。また認証取得事業所においては省エネルギーを目的・目標に掲げ計画的に実施しております。

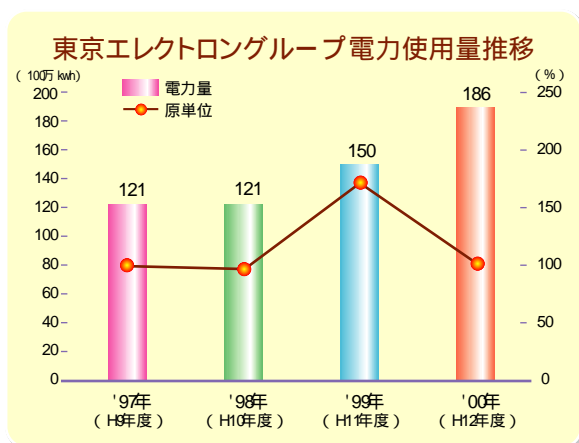
### 主な実施内容

照明、OA機器の節電(全事業所)	クリーンルームの部分的使用停止(佐賀)
空調機の温度設定管理(全事業所)	装置の計画停止(大津・山梨)
デモ稼働率削減システムの設計および運用(山梨)	コンプレッサの夜間停止(山梨)
自動販売機の夜間停止(大阪)	開発装置等に「節電シール」貼付(札幌)

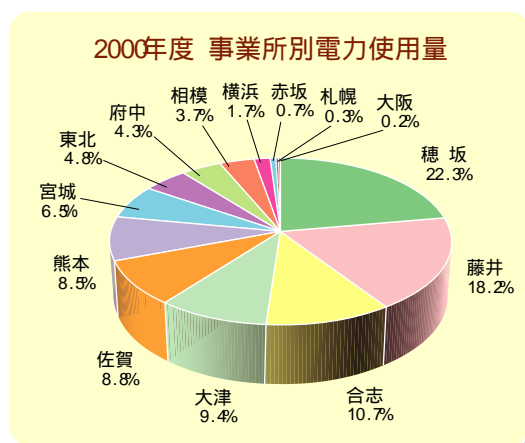
### 電力使用総量

下の図の棒グラフは、東京エレクトロングループ全体における、年度ごとの総電力使用量の推移を表しています。また折れ線グラフは、総電力使用量を当該年度の売上高で割った値で、年度ごとの比較を容易にするために、1997年度を100ポイント(100%)とし、売上高と総電力使用量との関係を原単位として表しています。尚、1999年度から、製造系事業所に加えて非製造系事業所の電力使用量も、集計を開始しました。

2000年度は、製造系事業所や研究機関地区において、製造設備や評価設備のフル稼働状況にあり、それに伴い電力使用量も増加し、1999年度と比較して東京エレクトロングループ全体の総電力使用量は増加しました。しかしながら原単位につきましては、前年度の170.7ポイントから96.8ポイントへと、前年度比で56.7%と4割以上も削減されており、大幅に改善されました。また基準年度の1997年度の値をも下回っています。今後も各事業所において、省エネルギーの推進を継続して実施し、総電力使用量の削減も目指していきます。



原単位 =  $\frac{\text{電力使用量}}{\text{売上高}}$  (1997年度 = 100%)



### 取り組み事例

大津事業所では、事業所全体で昼休みの消灯と照度アップによる照明の間引きの実施、空調の定刻停止による節電に取り組みました。結果として、年間120,000kWh 1.1%の節電効果がありました。

大阪支社では、飲料の自動販売機に稼働時間タイマーを取付けて、夜間に電源を落とす様にして